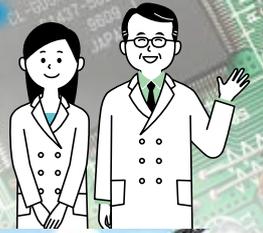


滋賀を支える研究機関

～みんなの暮らしをサポートしています～

県立の研究機関は県内の様々な課題を解決するため、現場の普及指導や、より優れた技術
を求めて地道な研究を行っています。まさに、「縁の下の力持ち」ともいふべき存在なのです。



PICK UP!

信楽窯業技術試験場 (甲賀市)

たぬきの置物のイメージが強い信楽焼ですが、主力製品は外装タイルや大型の陶板など。こうした工業製品や新素材の開発、人材育成の拠点が、この試験場です。そのために、工場と同等の生産設備を備えています。また、毎年10人ほどがここで研修し、工場の経営者や技術者など、窯業を支える人材として活躍しています。



素材・製品開発

新たな素材・商品・デザインを開発するための設備が充実。セラミックフィルターや光を通す陶器など、多数の製品を生み出しています。



人材育成

人材育成も試験場の大切な役割。研修はロクロ、陶土や釉薬の調合、デザインなど全4科目。希望する1科目を1年かけて学びます。



設備機器利用・依頼試験

陶土や釉薬を調合するため、元素を分析する最新鋭の蛍光X線装置を導入。分析や耐久試験のための機器は、多くの企業に利用されています。



こんなところにも信楽焼！

国会議事堂中央塔の屋根部分や、滋賀県庁本館の階段のレリーフなど、多くの建物に用いられています。



今は、ホテルや飲食店向けの坪庭用資材の開発に取り組んでいます。また、産学官の共同研究により、直径1m40cmの巨大な植木鉢を開発し、東京オリンピック・パラリンピックの聖火台近くの公園に設置することができました。

お台場会場からのテレビ中継に五葉松が植えられた紺色の陶器が映っていれば信楽焼ですよ。

信楽窯業技術試験場
場長 川澄 一司さん



スカーレットにも活かされています

『スカーレット』の器にも注目！

連続テレビ小説『スカーレット』に登場する器は、ほとんどが信楽窯業技術試験場で作られています。試験場で研修生の指導にあっている高畑宏亮さんは、出演者への陶芸指導だけではなく、演出のアドバイス、小道具の器のデザインや制作などを担当し、ドラマを支えています。実はそれらの準備が大変とのこと。かわはら工房に置かれた作品や食卓に並ぶ食器、喫茶店のカップなどにもぜひご注目ください。



信楽窯業技術試験場
専門員 高畑 宏亮さん



ドラマ用に準備された陶器



県民の皆さんのより良い生活と環境のため、

県立の研究機関では様々な分野の調査研究が行われています。

滋賀県の研究機関

工業



工業技術総合センター(栗東市)

県内製造業に開かれた研究室として、技術相談や共同研究、人材育成に取り組んでいます。



東北部工業技術センター

(長浜市、彦根市)

長浜庁舎では有機環境材料、繊維、高分子、デザイン分野について、彦根庁舎では機械、金属材料分野について企業への技術支援および産業支援を行っています。



畜産

畜産技術振興センター(日野町)

近江牛など家畜の効率的な飼い方や畜産物の品質向上に関する試験研究を行っています。



医療

県立総合病院研究所(守山市)

PET検査、がんや神経疾患、新型人工内耳など患者さんに役立つ研究を進めています。

衛生科学センター(大津市)

衛生

公衆衛生に関する試験検査、調査・研究、情報の提供等を行っています。



薬業技術振興センター(甲賀市)

医薬品や医療機器の品質、有効性および安全性に関する試験・研究を行っています。



農業技術振興センター

農業

(近江八幡市、栗東市、甲賀市)

農業分野の試験研究や新技術の開発、その成果の普及などに取り組んでいます。



環境

琵琶湖博物館(草津市)

「湖と人間の共存」にかかわる調査・研究を、地域の方々も含む多くの人たちとともに進めています。

琵琶湖環境科学研究センター

(大津市)

琵琶湖などのモニタリングや研究に取り組み、令和2年度に設立15周年を迎えます。



水産試験場(彦根市)

水産

セタシジミ、アユ、ホンモロコなど、琵琶湖の水産資源を増やす研究をしています。



醒井養鱒場(米原市)

ビワマスの養殖研究、アマゴやイワナなど溪流魚を増やす研究をしています。



全国でも珍しい行政と研究機関の連携

琵琶湖環境研究推進機構

水質や生態系などの琵琶湖の課題の解決に向けて、平成26年度に設立。4つの行政部局と8つの研究機関を中心に関係機関が連携しています*。

現在は、在来魚介類を復活させることを目指して「在来魚介類のぎわい復活に向けた研究」などをテーマに調査研究を進めています。

* 行政部局 (琵琶湖環境部、健康医療福祉部、商工観光労働部、農政水産部)
研究機関 (琵琶湖環境科学研究センター、琵琶湖博物館、衛生科学センター、工業技術総合センター、東北部工業技術センター、農業技術振興センター、畜産技術振興センター、水産試験場)

